令和　　年　　月　　日

北海道産業保安監督部長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 住 所

　　氏 名　（名称及び代表者の氏名）

　電気事業法第４３条第２項の規定により次のとおり主任技術者の選任の許可を受けたいので申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主任技術者を選任する事業場の名称及び所在地 | |  |
| 選任する主任技術者 | 氏名及び生年月日 |  |
| 住　　　　　　所 |  |
| 主任技術者の監督に  係る電気工作物の概要 | |  |

備考　用紙の大きさは、日本産業規格A４とすること。

選任許可を必要とする理由書

選任しようとする者の電気工作物の工事、維持および運用の保安に関する

　　 知識及び技能に関する説明書

【留意事項】

●必要となる添付書類は、「選任許可を必要とする理由書」及び「選任しようとする者の電気工作物の工事、維持及び運用の保安に関する知識及び技能に関する説明書」です。

「選任許可を必要とする理由書」には、主任技術者制度の解釈及び運用（内規）（20190304保局第1号　平成31年3月11日制定、以下「解釈及び運用」という。）２．の電気主任技術者に係る許可は（１）①、ダム水路主任技術者に係る許可は（２）①、ボイラー・タービン主任技術者に係る許可は（３）①に定める事業場又は設備の要件に適合するものであることを明記してください。

同様に、「選任しようとする者の電気工作物の工事、維持及び運用の保安に関する知識及び技能に関する説明書」には、解釈及び運用の２．の電気主任技術者に係る許可は（１）②、ダム水路主任技術者に係る許可は（２）②、ボイラー・タービン主任技術者に係る許可は（３）②に定める知識及び技能に適合する者であることを、資格等の種類、資格等の交付年月日（卒業年月日）及び資格等の番号明記して下さい。

* 主任技術者の交代にともなう手続きの場合は、「主任技術者解任届出書」も同時に提出して下さい。

主任技術者選任許可申請書（記入例）

令和　　年　　月　　日

北海道産業保安監督部長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　所　　札幌市北区北８条西２丁目

　　　　　　　　　　　　　　　　名　　　称　　北海道通産株式会社

代表者氏名　　代表取締役社長　安全　順一

　電気事業法第４３条第２項の規定により次のとおり主任技術者の選任の許可を受けたいので申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 主任技術者を選任する事業場の名称及び所在地 | | 北海道通産（株）本社工場  札幌市北区北８条西２丁目 |
| 選任する主任技術者 | 氏名及び生年月日 | 経産　太郎　昭和６０年４月１０日 |
| 住　　　　　　所 | 札幌市西区八軒５条４丁目 |
| 主任技術者の監督に  係る電気工作物の概要 | | 需要設備  　設備容量　500kVA  最大電力　300kW  　受電電圧　6.6kV  　供給変電所　北海道電力（株）、○○変電所  　非常用予備発電装置　120kVA　200V　１台 |

備考　用紙の大きさは、日本産業規格A４とすること。

選任許可を必要とする理由書（記入例）

　当事業場は、資本金５千万円、従業員４５名をもって電気部品を主製品とする工場であります。電気工作物は前記概要で述べたとおりですが、受電設備はキュービクルで高圧電気はここで全て低圧にかえ、負荷設備の主体は低圧電動機であります。

　電気主任技術者の選任につきましては、当社社員の中から選任することを検討しましたところ、有資格者が在籍していないため、有資格者の採用についても考慮いたしましたが、当社のような小規模な工場では有資格者の採用も困難のため、当社に平成２７年に入社し、本社工場に勤務する経産太郎に電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督を行わせざるを得ません。

　また、経産太郎は別添のとおり知識、技能を有し、本社工場の工務部門において工場全般の設備を管理しており、主任技術者としての職務遂行に当たっては適切な職位にあり適任と考えます。なお、主任技術者の職務遂行に当たっては保安規程を遵守し電気設備の保安の確保に留意いたします。

選任しようとする者の電気工作物の工事、維持および運用の保安に関する

　　 知識及び技能に関する説明書（記入例）

　経産太郎は、平成１７年４月から平成２７年３月まで札幌公益（株）札幌工場に勤務し、受電電力2,000kWの受電設備について、第３種電気主任技術者免状取得者の指導の下、電気工作物の運転・操作及び巡視・点検等の業務を行った。

　また、平成２７年４月から北海道通産（株）に勤務し、平成２７年１２月３１日まで本社工場（最大電力300kW）の新設工事の現場責任者となり、その後も工務部門において、工場全般の設備管理を行っています。

　平成３０年第１種電気工事士試験に合格（第１８P０９９９９号）